

国土形成計画（全国計画）のモニタリング 取りまとめ資料のポイント

◆モニタリングの構成

1. 5つの戦略的目標の進捗度のモニタリング

国土形成計画（全国計画）（以下「計画」）第1部で提示されている、新しい国土像実現のための5つの戦略的目標を、サブ戦略的目標ごとに進捗を代表的に示すと考えられる代表指標を1つ設定してモニタリングを行う。

2. 施策の実行度のモニタリング

計画第2部の分野別施策に対応する各府省の政策評価指標を活用して施策の実行度のモニタリング（施策の進捗状況に関する把握）を行う。

3. 国民を対象とした意識調査

戦略的目標の実現に対して、国民がどのように実感しているか把握するために、国民（一般国民、地方自治体、NPO、専門家、企業）を対象としたアンケート調査を実施する。

◆5つの戦略的目標ごとのモニタリング結果

1. 東アジアとの円滑な交流・連携

- (1) 東アジアネットワーク型の産業構造下における我が国産業の強化
- (2) 東アジアの共通課題への取組、文化交流、人材育成
- (3) 円滑な交流・連携のための国土基盤の形成

【全国の結果】

進展している。

【広域ブロックごとの結果】

東北圏、首都圏、沖縄県では進展している。

近畿圏、中国圏、九州圏では概ね進展している。

北海道、北陸圏、中部圏、四国圏では進展が見られず、今後の進展が求められる。

【国民の実感】

(1) 東アジアネットワーク型の産業構造下における我が国産業の強化、(2) 東アジアの共通課題への取組、文化交流、人材育成に関する項目については、専門家、企業では「東アジアとのビジネスが増えた」、「街中でアジアの言語による案内を見かけることが多くなった」等の実感が高い。

2. 持続可能な地域の形成

- (1) 持続可能で暮らしやすい都市圏の形成
- (2) 地域資源を活かした産業の活性化
- (3) 美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開
- (4) 地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動の促進

【全国の結果】

概ね進展している。

【広域ブロックごとの結果】

首都圏、北陸圏、中部圏、四国圏では進展している。

北海道、東北圏、近畿圏、中国圏、九州圏、沖縄県では概ね進展している。

【国民の実感】

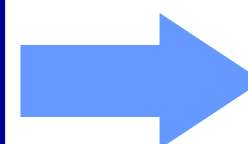
(2) 地域資源を活かした産業の活性化、(3) 美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開に関する項目については、一般国民、地方自治体、NPO、専門家、企業では「新たに立地する企業が増えた」、「農山漁村が暮らしやすくなった」等の実感が特に低い。

◆5つの戦略的目標ごとのモニタリング結果（続き）

<p>3. 災害に強いしなやかな国土の形成</p> <p>(1) 減災の観点も重視した災害対策の推進</p> <p>(2) 災害に強い国土構造への再構築</p>	<p>[全国の結果] 進展している。</p> <p>[広域ブロックごとの結果] 北海道、首都圏、北陸圏、近畿圏、中国圏、四国圏、九州圏では進展している。東北圏、中部圏、沖縄県では概ね進展している。</p> <p>[国民の実感] (1) 減災の観点も重視した災害対策の推進に関する項目については、地方自治体、NPO、専門家、企業では「災害を予防するための情報（ハザードマップなど）が多くなった」等の実感が高い。</p>
<p>4. 美しい国土の管理と継承</p> <p>(1) 循環と共生を重視し適切に管理された国土の形成</p> <p>(2) 流域圏における国土利用と水循環系の管理</p> <p>(3) 海域の適正な利用と保全</p> <p>(4) 魅力あふれる国土の形成と国土の国民的経営</p>	<p>[全国の結果] 概ね進展している。</p> <p>[広域ブロックごとの結果] 首都圏、中部圏では進展している。東北圏、近畿圏、四国圏、沖縄県では概ね進展している。北海道、北陸圏、中国圏、九州圏では進展が見られず、今後の進展が求められる。</p> <p>[国民の実感] (1) 循環と共生を重視し適切に管理された国土の形成に関する項目については、一般国民、地方自治体、NPOでは「自動車利用を控える、省エネを心がけるなど、地球温暖化を意識するようになった」等の実感が高い。</p> <p>[今後進展が期待される取り組み] 地方自治体、専門家では「市民参加型の森林や緑地の保全活動（植林、下草刈りなど）」等の項目については、「国土の国民的経営」として今後の進展への期待が高い。</p>
<p>5. 「新たな公」を基軸とする地域づくり</p> <p>(1) 「新たな公」を基軸とする地域づくりのシステム</p> <p>(2) 多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくり</p>	<p>[全国の結果] 進展している。</p> <p>[広域ブロックごとの結果] 北海道、東北圏、首都圏、北陸圏、中部圏、近畿圏、中国圏、四国圏、九州圏では進展している。沖縄県では進展が見られず、今後の進展が求められる。</p> <p>[国民の実感] (1) 「新たな公」を基軸とする地域づくりのシステム、(2) 多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくりに関する項目については、地方自治体、NPO、専門家では「自治会、学校（PTA）、NPOなどによる地域づくりへの参加の機会が増えた」、企業では「企業による地域貢献の活動が増えた」等の実感が高い。</p> <p>[今後期待される活動主体] 地方自治体、NPO、専門家では「NPO」、地方自治体、NPO、専門家、企業では「企業の地域貢献活動（CSR活動など）」については、「新たな公」として今後活発になることの期待が高い。</p>

◆政策評価指標による施策の実行度のモニタリング

<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災 ・ 地域の整備 ・ 産業 ・ 文化及び観光 ・ 交通・情報通信体系 ・ 国土資源及び海域の利用と保全 ・ 環境保全及び景観形成 ・ 「新たな公」による地域づくりの実現 	<p>進展が見られる</p> <p>概ね進展が見られる</p>
---	---------------------------------



政策評価指標による施策の実行度のモニタリング結果と、代表指標による5つの戦略的目標のモニタリング結果は、概ね進展しているという点で一致している。